

令和 7 年度 第 1 回介護保険運営協議会
地域密着型サービス運営部会 会議録（概要）

1 日 時 令和 7 年 8 月 25 日（月）午後 2 時 05 分から 2 時 27 分まで

2 場 所 三条市役所 厚生福社会館 第 3 集会室

3 出席状況

(1) 出席委員

浅間 正直委員、長谷川 正樹委員、宮島 健委員、羽生 好太委員、渡辺 由美委員、
目黒 佳代委員、木戸 正史委員（7 人）

(2) 欠席委員

長谷川 将也委員（1 人）

(3) 事務局職員

高齢介護課 課長 佐藤 育男

介護認定係長 鈴木 慎一、介護保険係長 田辺 秀行

(4) 傍聴

なし

4 議 事

(1) 協議事項

ア 部会長及び部会長職務代理者の選任について

互選により、部会長に社会福祉法人恩賜財団済生会支部新潟県済生会推薦の渡辺
由美委員を選任した後、渡辺部会長の指名により、部会長職務代理者に三条市自治
会長協議会推薦の浅間 正直委員を選任した。

全員異議なく承認

イ 第 9 期介護保険事業計画における施設整備について

(鈴木係長) 資料 1 について説明

(長谷川(正)委員) 特定施設入居者生活介護とは何か。

(佐藤課長) 介護付き有料老人ホームのことである。

(木戸委員) 資料の 1 募集の内容における計画数の根拠はあるのか。

(佐藤課長) 事業者へも整備意向を調査しつつ、市としても介護度に応じた
対象者数のニーズの伸びなどを見極めて計画を立てている。

(木戸委員) 結果として応募がなかったため、ニーズがどうなっているのか
疑問に感じたため確認した。

(佐藤課長) ニーズはあり、特養の待機者数調査では年々増加傾向にある。

(木戸委員) 事業者の経済事情等もあるのか。

(佐藤課長) それもある。市として募集している施設が地域密着型特養である

ため、小規模でありスケールメリットがなく複合的なサービス展開をしないと採算がとれないといった声もいただいている。

こういった声を踏まえ、広域型も検討していきたい。

(羽生委員) 3月の選定員会に参加させていただいたが、過去に選定されなかったケースはあるのか。

(佐藤課長) 1事業者のみの応募の場合で選定されないというケースについては、私の把握している限りない。

(宮島委員) 今後も応募無しが継続するようであれば、選定の考え方を变えることもあるのか。

(佐藤課長) 必要に応じて、広域型の特養も来期は検討していきたい。

全員異議なく承認

(2) 報告事項

ア 指定地域密着型サービス等の状況について

(鈴木係長、田辺係長) 資料2-1、2-2について説明

質疑なく終了

イ 指定地域密着型サービス事業者の指定について

(鈴木係長) 資料3について説明

(長谷川(正)委員) 資料の1(2)にある特別養護老人ホーム大崎倶楽部について、施設サービス以外にもショートステイなども提供していたようだが、経営上の問題から必要だったのか。

(佐藤課長) 事業者から、地域密着型特養のみでは採算がとれないため、ショートステイも合わせて提供したい旨の相談をいただいていた。

また、29人の定員もすぐにはうまらなかったと聞いている。

(長谷川(正)委員) 待機者数が増加傾向にある中で、入所希望者が少ないのはなぜか。

(佐藤課長) 各事業者に聞き取りをしたところによると、名簿上で待機者となっている人に事業者から入所の連絡をするが、まだ在宅で介護できるなどの理由で入所を断られることもあると聞いている。

(長谷川(正)委員) 社会福祉法人が今後設置されるという話はあるか。

(佐藤課長) 今のところ把握していない。

5 その他

次回の開催は、3月頃を予定